

いつもの暮らしに、がん検診を



大切なあなたと家族のために検診を受けましょう

問合せ：健康づくり推進課成人保健係 ☎757-9764

市民の死亡原因の第1位はがんで、特に肺がん・胃がん・大腸がんで亡くなる人が多い傾向です。がんは早期に発見し、治療を行うことが大切です。そのために、定期的にがん検診を受診しましょう。今号では、大腸がん検診について詳しくお知らせします。

年に一度は大腸がん検診を受けましょう

大腸がんは早期に発見し、すぐに治療すれば治りやすいがんです。早期発見のために、40歳になったら、毎年1回大腸がん検診（便潜血検査※）を受けましょう。

※便潜血検査とは

大腸にがんやポリープなどがあると、わずかに出血することがあるため、便の中に血液が混じっていないか調べる検査です。自宅で2日分の便をとるだけの簡単なもので、痛みも食事制限もありません。

精密検査は必ず受けましょう

大腸がん検診の精密検査は肛門から内視鏡を入れ、大腸の中に異常がないか検査をします。検診の結果、精密検査が必要と診断された人は、詳細な病状を知るために、医療機関で精密検査を受けましょう。

気になる症状があるときはすぐに医療機関を受診しましょう

出血を痔や便秘のせいだと自己判断するのは危険です。次のような症状が続くときは、検診を待たずに、すぐに医療機関を受診しましょう。

【気になる症状の一例】

- ・ 便に血がつく
- ・ 急に便の太さが変わった
- ・ 便秘や下痢を繰り返す
- ・ 腹痛や腹部のしこり など

コロナ禍でも必要な受診を

受診を控えると、がんの発見が遅れるなど重症化のリスクが高まります。検診会場は新型コロナウイルス感染症対策として、入口での体調確認や手指消毒、会場の換気などの対策を行っています。検診日に体調や都合が悪くなったときは、健康づくり推進課または各支所市民課へ連絡してください。

令和2年度に大腸がん検診の精密検査を受けた人の感想

検査前に腸内をきれいにする下剤を飲むのは辛かったですが、内視鏡検査の痛みはほとんどありませんでした。大腸がんの自覚症状は全くありませんでしたが、医師からは「数年前からがんができていた」と言われました。検診で精密検査が必要と診断されたら、絶対に受診することが必要だと思いました。

(50代・女性)

精密検査で小さなポリープが見つかりましたが、切除しなくても大丈夫と言われて安心しました。短時間で病気の早期発見ができるので、精密検査が必要な人は受診しましょう。

(70代・男性)

大腸がん検診を受けたほうが良いと子どもに勧められ受診したところ、要精密検査になり、ポリープが3個見つかり驚きました。自分は健康だから大丈夫と思っている人こそ、検診を受診したほうがよいと心から思いました。

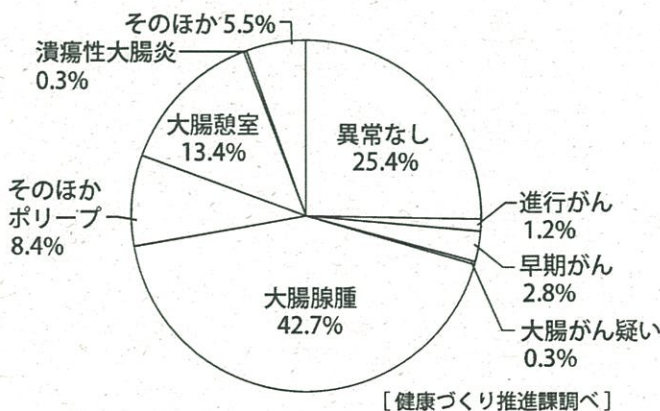
(50代・女性)

過去2年間の十日町市大腸がん検診精密検査の結果は下図のとおりです

平成30～令和元年 精密検査結果

(受診者数 632人)

※複数項目該当者あり



- 精密検査を受けた人のうち、1.2%が「進行がん」、2.8%が「早期がん」と診断されています
- 42.7%の人が「大腸腺腫（ポリープ）」と診断されています（大腸腺腫は内視鏡検査時に切除が可能）